

環境保全行動
自動車使用管理 計画提出書

2025 年 7 月 17 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所 氏 名 (代表者名)	〒 065-0030
	札幌市東区北30条東18丁目8番1号
	医療法人 札幌東和病院
	理事長 池下 照彦

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		83 医療業												
事業の規模	従業員数	165		人	原油換算した		231		kl					
	使用床面積	5,937		m ²	燃料・熱・電気の合計量									
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数		3		台						
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC									
		601	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂								
		非エネルギー起源CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃									
		t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂									
提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)					☒ 第 1 項 ☐ 第 3 項							
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)					☐ 第 1 項 ☒ 第 2 項							
計画書の担当部署		担当部署名												
		担当者氏名												
		電話/FAX												
		電子メールアドレス												
計画期間		2025	年	4	月	1	日	～	2028	年	3	月	31	日
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり												
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	☐ 有 (認証名) ☒ 無												
	その他													

注 1 事業の概要は、事業所における日本標準産業分類の中分類項目に掲げる業種及びその業種に対応する日本標準産業分類における分類番号を記入してください。

2 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、4月1日現在で記入してください。

3 事業所数は、4月1日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

4 燃料・熱・電気の合計量は、計画期間の初年度の前年度に使用した量を原油換算して記入してください。

5 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則第4条に規定する方法で行ってください。

6 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

7 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

8 環境マネジメントシステムの認証登録がある場合は、認証登録の範囲が分かる書類の写しを添付してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1 基本的な方針

- ①職員一人一人が環境問題の対応を認識し、事業活動のあらゆる場面で考慮していきます。
- ②地球環境の保全と環境への負荷の削減を図っていくため、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減を推進して いきます。
- ③地域社会とのパートナーシップを重視し、行政と連携して環境の保全向上を目指します。

2 行動目標

【計画期間】

2025 年 4 月 1 日 ～ 2028 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値		目標削減率		目標数値		基準数値の 設定根拠	削減項目
	数値	単位			数値	単位		
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	620000	kg	1	%	614000	kg	2022～2024年度実績の平均値	
紙使用量削減	698	kg	1	%	691	kg	2022～2024年度実績の平均値	
水使用量削減	18000	m ³	1	%	17800	m ³	前回同様の数値	
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	4450	kg	1	%	4410	kg	2022～2024年度実績の平均値	
法令の遵守				%				
				%				

- 注 1 目標削減率は、基準数値（二酸化炭素排出量等）に対する削減率です。任意で設定してください。
- 2 目標数値は、基準数値と目標削減率から算出してください。
- 3 自動車使用管理計画策定義務を負う事業者は、自動車の使用に伴う二酸化炭素排出抑制に関する目標を必ず設定してください。
- 4 基準数値の設定根拠には、基準年等を記入してください。

3 行動計画

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2025 年度	2026 年度	2027 年度
削減する 二酸化炭素排出量を	昼休み及び残業時の不要な照明を消す	事務	全部署			
	更衣室、会議室、書庫等の不要な照明を消す	事務	全部署			
	昼休みや外勤等で使用していないOA機器の電源を切る	事務	全部署			
	コピー機は節電モードで使用する	事務	全部署			
削減する 二酸化炭素排出量を削	テレビ、ビデオ等は主電源を切る	事務	全部署			
	近隣階へはエレベーターを使用せず、階段を使用する	事務	全部署			
	ブラインド及びカーテン等の適切使用により、冷暖房負荷を軽減する	事務	全部署			
	退社時には必ずパソコン等の電源プラグを抜く	事務	全部署			
削減する 水の使用量を削減	手洗い、給湯利用時に節水を励行する	事務	全部署			
削減する 紙の使用量を削減	添付資料は最小限に抑える	事務	全部署			
	両面コピーを徹底する	事務	全部署			
	ミスコピーを減らす	事務	全部署			
	裏紙を利用する	事務	全部署			
環境負荷の低減による	自動車利用を控え、公共交通機関を積極的に利用する	総務	全部署			
	アイドリングストップを徹底する	総務	運転担当者			
	エコドライブを意識する	総務	運転担当者			
量を一般廃棄物の排出削減する	余剰が出ないよう計画的な物品購入を行う	事務	全部署			
	リサイクルできるものは必ず分別する	事務	全部署			